

香川大学教育学部附属幼稚園で、 園児との交流をしました

6月12日、教育創造コースの2年生は、**香川大学教育学部附属幼稚園**で、園児の皆さんと一緒に活動しました。事前のオリエンテーション(5月26日)には、附属幼稚園では、**子どもたちが主体的な遊びを通して友達やものとのかかわりを広げていく**ことを大切にした教育が行われていることを学びました。環境調整の大切さや、大人と一緒に遊ぶことの意義を感じながら、子どもたちと力いっぱい遊びました。

※正方形の中は、参加した生徒の感想です



園児が泥だんごを見て、「アイスクリームみたい」と言ったので、「アイスクリーム屋さんをしよう」と言ったら、とてもうれしそうな顔をしてくれて、一緒に遊びました。



園児がブロックとレールを組み合わせ、コースを作り、ビー玉がうまくゴールできるようにコースを修正しながら遊んでいました。園児が失敗から学んでいる姿にとっても驚きました。



読み聞かせは1冊読むと次から次へと本を持ってきてくれて、合計で10冊近く読みました。口が疲れました…。去年の読み聞かせの講座がとても役に立ちました。



幼稚園の先生方は声と表情を全て使って、全力で一对一で子どもと向き合い、叱るときは叱る、注意するときは注意する、遊ぶときは遊ぶ。一人の人間として子どもをとらえ、向き合っていた。

